

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)八尾・東本町2丁目 新築工事	階数	地上10F
建設地	八尾市東本町2丁目60番、62番1の	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	375 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2015年10月27日
敷地面積	3,617 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社聖建社建築事務所 松岡
建築面積	1,445 m <sup>2</sup>	確認日	2015年10月27日
延床面積	8,682 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社聖建社建築事務所 松岡 孝

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 78%  
③上記+②以外の 78%  
④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 住居として長く快適に生活できるよう安心・安全・耐久性に配慮した。		特に無し
<b>Q1 室内環境</b> 長年住まう分譲マンションとして快適な室内環境となるよう、音環境、光・視環境、空気質環境に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 情報化時代に相応しい高度情報通信設備に対応し、暮らしたるとして相応しい耐用性に配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地及び空地を極力確保し、敷地内の環境向上に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 極力建築物の環境負荷が低減できるよう配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水に配慮し、有害物質を含む材料の使用を回避するよう配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 地域への交通負荷が低減できるよう駐輪場・駐車場の確保に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0073

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)八尾・東本町2丁目 新築工事					
	建設地	八尾市東本町2丁目60番、62番1の一部、62番2の一部					
	用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					<b>B+</b>	
	CO2削減					<b>4</b>	
	省エネ対策					<b>3</b>	
	みどり・ヒート アイランド対策					<b>2</b>	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】			
省エネルギー対策		① CO2削減	
省エネ対策		② 省エネ対策	
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	<b>3.8</b>	<b>4</b>
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体 <b>3.0</b> 住戸・宿泊 <b>3.0</b>
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	<b>3.0</b>
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	<b>3.0</b>
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	<b>4.2</b>
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	<b>3.0</b>
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	<b>3.4</b>
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	<b>1.0</b>	<b>2</b>
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	<b>3.0</b>	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	<b>3.0</b>	
その他			
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項			